

2025年度

教員免許事務担当者講習会

2025.10.25

「事例から学ぶ トラブル事例への対応」 ＜失敗から学んだ熱と冷＞

学校法人行吉学園 神戸女子大学・神戸女子短期大学
前理事長 多畑 寿城

<自己紹介>

昭和60年4月 一般企業（営業）

昭和61年4月 大阪芸術大学（出身大学）の教職研究室（のち相談室）副手（教職に関する調査研究補助、授業補助、教育実習事務、相談業務 等）

平成元年4月 某専門学校 学務室（教務事務、入試広報）、学級副担任 等

平成 4年4月 神戸女子大学 教務課（教育学科及び教職課程担当）

平成 5年6月 神戸女子大学 入試広報部門設置準備室

平成 6年4月 法人本部入試広報部入試広報課 <入試広報部門が発足>

平成 9年4月 神戸女子短期大学 教務課（教職課程（申請含む）、カリキュラム、時間割等）

平成12年6月 神戸女子大学 教務課（H17～課長）（教職（申請含む）、栄養実習、時間割等）

平成19年4月 学園サポーターセンター事務部次長兼教職支援課課長 <教職支援センターが発足>

平成22年4月 学園サポーターセンター事務部部长

平成23年4月 学園サポーターセンター事務部部长兼須磨キャンパス教職支援センター課長

平成25年4月 学園サポーターセンター事務部部长

平成27年4月 須磨キャンパス事務部部长兼学園教職支援センター長

平成28年4月 学園サポーターセンター事務部部长兼学園教職支援センター長

令和 4年4月 理事、事務局長（教職改革担当特命事項含む）

令和 5年7月 理事長

令和 7年3月 理事長退任

令和 7年4月 学校法人吉学園（神戸女子大学・神戸女子短期大学・神戸女子大学附属高倉台幼稚園）退職

そもそも「支援」という言葉や類する言葉の意味は？

「支援」

- ・ ささえ助けること
- ・ 援助すること

「ささえる」

- ・ 物をおさえてとめて落ちたり倒れたりしないようにすること
- ・ 持ちこたえる ・ 維持する

参考：広辞苑 第六版 岩波書店

そもそも「支援」という言葉や類する言葉の意味は？

「援助」

- ・ 助けること
- ・ 助勢

「助勢」

- ・ 力をそえる
- ・ 加勢
- ・ たすけ

「加勢」

- ・ 勢いを加えること
- ・ 助けること
- ・ 助勢

参考：広辞苑 第六版 岩波書店

教職で考えられる「支援」って？

- ・履修（履修方法・システム登録等）
- ・既修得単位の認定
- ・学力に関する証明書の発行
- ・介護等体験
- ・教育実習
- ・学校体験活動（ボランティア・インターンシップ等々）
- ・教員採用試験対策
- ・生涯にわたる教職キャリア支援
- ・人生相談
- ・????

学生とどう向き合う？

- ・ **ガイダンスやオリエンテーション**

説明者からの一方的な説明が中心

でも、双方向のコミュニケーションが大切

- ・ **窓口での事務手続き、ルールの説明・相談**

規則やルールにのっとった事務的な対応が中心

- ・ **個々の事情に応じた個別相談**

傾聴の姿勢

柔軟な対応

感情移入しすぎる可能性

より冷静な対応が必要

物理的、精神的距離感が難しい

陥りがちな支援の「罫」の回避

★中心は誰？誰のため？

- ・ 学生の立場になって説明や対応できてますか？
- ・ 独りよがりな対応になっていませんか？
- ・ 話したい内容より知りたい内容になってますか？
- ・ 持てる知識をひけらかしていませんか？
- ・ 「伝える」より「伝わる」ことが大切です
- ・ 「ちゃんと伝えた」は「ちゃんと伝わっていない」
- ・ 話を聞いてあげていますか？
- ・ AさんとBさんと、答えは同じでも同じ対応でよいのでしょうか？
- ・ みんな同じようで、みんな違って
- ・ 職員には当たり前のことも学生には当たり前ではないのです

陥りがちな支援の「罫」の回避 自戒の念を込めて

- ・ ガイダンス等で「上手に話せた」と感じた時よりも「上手く話せなかった」と感じた時ほど意外と伝わっているものです。 自分に酔っていませんか？
- ・ ガイダンス等で違うクラスで同じ内容を話しても、コピーしたようには話さない
学生の反応や、全体の空気感で臨機応変に変化させる
窓口対応でも同様に
- ・ 皆さんは仕事（学校）が楽しいですか？私たちが楽しいと感じない所を学生が楽しいと感じるでしょうか？
楽しいところじゃなかったら、みんなで楽しいところにしましょうよ。

学生対応で苦慮（失敗）したこと

神女大着任１年目（平成４年）

●教育委員会配当自治体への教育実習の申請を
忘れた！

即、上司に報告

○当該教育委員会担当部署へ電話を入れ事情を
話し平謝り

来年と言われる

○しつこくお願いしたおす

「今回だけです。今後は聞けませんから
十分注意してください。」

学生対応で苦慮（失敗）したこと

神女大 教務課長時代

- 既修得単位認定で「短大の先生が認定できると言っていたのになぜ認定しないのか。」

即、報告を受け担当者と協議

- 丁寧に仕組みを説明するが短大の先生ができると言った、の一点張り

学生にとっては先生が言ったことが正解
短大教員に説明し、更に

- 教務部長同士で話をしてもらう
- 既存の既修得単位認定のルールの見直しと改訂
⇒ 但し、学生個々の事情に配慮できるよう工夫

学生対応で苦慮（失敗）したこと

神女大 教職支援センター長（事務部長）時代

●教育実習直前のドタキャン！

数人の連鎖（同一学科内）

即、報告を受けセンター長及び
所属学科主任に報告

○即、実習校へ連絡し事情を説明

●学科は当該学生の実習指導教員含め知らん顔

教職支援センター長（教員）に
学科主任を厳しく指導要請

「自分の学科の学生のことでしょ！教職を取ってる学生も学科の学生でしょ！もっと責任を持ちなさい！それができないなら、
教職課程返上しなさい！！」

学生対応で苦慮（失敗）したこと

大阪芸大 教職研究室 副手時代

- 母校（静岡の中学）で急に教育実習を断られて行き先がない

即、教務課と教職研究室主担
教員に報告

- 実習校へ即連絡したが先方の中学校の事情でどうしてもダメ！
- 私と教員で大学の近所の中学校へ直談判に行き、何とかOKしていただく

学生本人に実習先確保できた
ことを伝える

学生対応で苦慮（失敗）したこと

「僕、教職取るのやめました！」

多畑の怒りは頂点へ！

「お〇、な〇てんのか！！」
その瞬間に学生の胸〇らをつ×む
俺や先生がお〇のために校長先生に頭下
げて頼んできてやったんやぞ！！

主担教員が極めて冷静に

「多畑君、そう興奮せんと、先ず話を聞いて
あげてえな。」

多畑、まだ怒り収まらず
主担教員が

学生対応で苦慮（失敗）したこと

「何かあったんか？どないしたんや？
怒らへんから話してごらん。」

主担教員が学生と穏やかに
話し終わり学生退室

「多畑君、あれはあかんで。あんたの
気持ちは分かるけど、いきなりあんなに怒ったら話もでけへんやろ。してやったのにとか、こっちの理屈を言うたらあかんで。それに、胸〇らをつ×むのは絶対ダメ。」

◎まとめ

- 学生の話聞く耳を持ちましょう
 - トラブルは初動が重要！
 - 学生とのコミュニケーション力
 - 学生との距離感（熱・冷）
 - 伝えるより伝わる対応
 - 関係者間の情報共有
 - 教員との協働を意識
 - 自信を持って対応ができるように研鑽
- ★ 学生支援に「正解」ってあるの？

みんなそれぞれに
違った生き方がある
だから難しいけど
やいがいもある
そんな学生支援の
旅はつづけます

ご静聴

ありがとうございました